

# 平成27年度事業報告

## 1 普及啓発事業

### (1) 賛助会員

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努めた。個人会員は381人、法人会員は118件であった。

### (2) がん征圧月間運動

日本対がん協会と日本医師会は9月を「がん征圧月間」としており、また、北海道は9・10月を「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」としている。当協会は両者へ協力し、9・10月に重点的にがん征圧運動を行っている。具体的な取組みとしては

ア 「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」行事として、北海道庁ロビーにおいて「がん予防普及パネル展」を開催した。

イ がん検診事業の拡大をはかるため、地域団体と協力して街頭PRを行った。

ウ 広報資料・がん関係資料を報道関係者に積極的に提供し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを行った。また、がん予防ポスターを北海道医師会と連携し、道内の医療機関及び市町村へ配付した。

エ 官公庁に協力を得て、がん検診受診促進のための懸垂幕・看板を提示してもらい、PRを行った。

### (3) がん予防道民大会

がんに関する正しい知識を広く道民に普及することにより、がん予防活動の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和40年以来、がん征圧月間の中心行事として全道で開催している。今年は北海道・江別市・北海道健康づくり財団と共催し、数多くの関係団体の後援のもと、10月9日(金)、江別市民会館において次のとおり開催した。

本大会には、全道から920名が参加した。又、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了した。

大会の主な行事

#### ○ がん予防功労者表彰

受賞団体 帯広市 名寄市 深川市 苫前町 安平町 江別市食生活改善協議会

#### ○ 特別講演

「がんを知り、がんには負けない2015」

演者 北海道がんセンター 院長 近藤 啓史 先生

#### ○ 健康講演

「トーク&ライブ 人と和する音楽」

演者 シンガーソングライター 桜庭 和 氏

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、札幌・旭川・釧路（帯広）の各センターで3コースを開講し、延べ149人が受講した。

イ 北海道家族の健康をまもる講習会

北海道健康をまもる地域団体連合会・北海道食生活改善推進員協議会、北海道結核予防会と共催し、平成27年7月3日～4日の2日間、美瑛町国立大雪青年の家において、全道から参加した59名の受講者にごん・結核・栄養等に関する講習会を開催した。

ウ 講習会等

地域住民や保健推進員などを対象に、27回、1733名へ講演・講習会等を行った。

(5) がん対策の概況

がん対策の概況については昭和45年から毎年発刊している。平成27年度は7月（平成25年度実績）、2月（平成26年度実績）に発刊した。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発刊

北海道対がん協会の機関誌である「しらかば」を年3回発刊した。

イ ホームページの充実

近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、ホームページを充実し、新しい情報の提供に努めた。

ウ メディアの活用

メディアを通じて、がん予防の普及に努めた。

- ・北海道新聞社が展開する「がんを防ごう」特集の取材に継続的に協力を行った。
- ・ミニコミ誌・コミュニティFM局などで、がん検診についてPRを行った。

(7) 普及啓発の推進

ア 地区組織との連携

がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図るため、各種団体・地区組織と連携を行った。

イ 企業との連携

ピンクリボン運動等、がん征圧の趣旨に賛同する企業と連携し、がんの知識の普及と検診の拡大を図った。また、職員向けの健康教育にも積極的に講師を派遣した。

ウ ボランティア団体への支援

ピンクリボン運動等の啓発活動に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図った。

エ 健康まつり等への参加

各市町村が行う健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施した。

オ パンフレット、リーフレット、ポスター等

パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図った。また今年度は受診を呼びかけるステッカーを作製し、北海道薬剤師会の協力のもと道内の薬局へ配布し、店舗内への調布を依頼した。

カ 子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクトへの活動協力

札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）からなる標記プロジェクトに実行委員として参加したほか、メンバーのがんに関する正しい知識を習得するための研修会等の協力をおこなった。

(8) 各種がん対策会議

がん検診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次のとおり会議を開催した。

ア がん対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に「がん対策推進会議」を次のとおり開催した。

■がん対策推進会議 平成27年10月23日（金）13：00～16：30 ホテルポールスター札幌

○ 報告事項

1 北海道からの報告

- ・がん対策にかかる厚生労働省の動向について
- ・「全国がん登録」の実施について
- ・北海道がん対策基金について

2 北海道対がん協会からの報告

- ・平成28年度検診の実施計画について
- ・マンモグラフィ単独検診の実施について
- ・ピロリ菌検査の実施について
- ・子宮頸がん検診における細胞診とHPV併用検診の有効性について

○ 講演

「救える癌、胃がん、大腸がんで毎年10万人の死亡に対して検診が果たすべき役割と具体的方法は？」

北海道大学大学院医学研究科がん予防内科 特任講師 間部 克裕氏

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

東北6県支部が集い、事業状況等について情報交換を行った。

（平成27年10月宮城県仙台市にて開催）

ウ 各センター所在地と北海道対がん協会とのがん検診打合せ会議

がん検診を、円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議した。

(9) 受診率の向上

ア 受診率向上委員会の充実強化

委員会の在り方検討グループ会議も含め17回開催し、受診率向上に向けて検討した。

イ 未受診者への検診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨はがき等を活用し、検診対象年齢でありながら一度も受診していない人についての働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシを約33.3万枚、ハガキ約1万枚を作成し、市町村へ提供した。

ウ 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化をすすめた。

エ 日曜検診の実施

3 検診センターで平日受けられない人などを対象に、がん検診と各種検診（健診）を16日間実施し延べ2,774人受診した。

(10) 行政との連携強化

受診率の向上に向けて、北海道をはじめ市町村と連携強化し推進した。

(11) センター検診の充実

ア センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大をはかった。

イ 人間ドックの受診拡大、新たな検査項目の追加

人間ドック標準コースにCT検査を追加したプレミアムドックやピロリ菌検査を平成28年度から新たに開始できるよう準備を行った。

ウ ホームページからの予約

夜間や休日でも予約を受けられるよう、ホームページに予約フォームを設置し管理している。

(12) その他

ア 北海道がん対策基金の事務局運営

当会は事務局として基金の管理・運営を行っている。平成27年度末の寄附額は11,151,455円であった。また、道内のがんに関する活動を行う6団体へ245万円を助成した。

イ がん電話相談事業

専任の相談員を置き「がん電話相談」事業を実施しているが、平成27年度の相談件数は、89件（札幌市内74件、他市町村14件、不明1件）であった。これを性別で見ると、男性22人、女性67人、部位別では、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がんの順であった。

ウ 小舟会事務局

会員相互の親睦・健康回復の実践を促すことを目的に設立された。事務局は当協会におき、がん予防・普及啓発やがんの不安・術後の悩みを語り合う会・研修会などの活動を行った。

エ 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加して、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加協力した。

オ リボンムーブメント（大学生の子宮頸がんの啓発活動グループ）への活動協力

グループのメンバーが子宮頸がんの正しい知識を習得するための研修会へ講師を派遣した。

## 2 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力した。

また、職員の資質の向上をはかるため、日本消化器がん検診学会・日本放射線技術学会・日本乳癌検診学会・日本臨床細胞学会等に派遣し、9学会で延べ11人が発表した。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として参加。平成27年度は、調査票での乳房健康調査を実施した。

(3) 研究事業

子宮頸がん検診受診者の内、同意を得られた方に対して、細胞診に加えHPV-DNA検査を併用実施し、これにより子宮頸部病変の検出における、HR-HPVの検出または遺伝子型16型/18型判別の実有効性を検討することを目的として行った。

研 究 名 「北海道におけるHPV併用検診臨床研究」

研究統括責任者 北海道大学大学院 医学研究科学婦人科学分野 櫻木範明教授

研究実施医療機関 北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学・北海道対がん協会

(4) 委託事業

下記の事業について、公募型プロポーザル方式を通じて北海道より受託し、実施した。

がん診療機能評価事業（地域医療再生基金事業）

市町村が実施するがん検診事業の評価を行うことを目的に、医師、市町村保健師、治療経験者検診機関保健師からなる”市町村がん検診事業評価検討委員会”を検診5か所ごとに設置し、道内の市町村のがん検診の実態について把握・検討した。また検討結果をふまえ、『自治体におけるがん検診事業担当者のための精度管理の手引き』を作成した。

### 3 会議開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 平成27年6月10日(水) 場所 会議室

第2回理事会 平成28年3月25日(金) 場所 会議室

(2) 評議員会

第1回評議員会 平成27年6月23日(火) 場所 会議室

(3) 四役会

第1回 平成27年5月28日(木) 場所 役員室

第2回 平成27年8月26日(水) 場所 役員室

第3回 平成27年11月24日(火) 場所 役員室

第4回 平成28年2月29日(月) 場所 役員室

#### 4. 集団検診事業

##### 総括表

(単位：人)

部位別	センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車	95,551	55,987	26,732	12,832
	検 診 センター	29,452	17,086	8,453	3,913
	計	125,003	73,073	35,185	16,745
	計 画 数	127,050	73,010	35,900	18,140
	実 施 率	98.4%	100.1%	98.0%	92.3%
子 宮 が ん	検 診 車	21,970	10,780	8,062	3,128
	検 診 センター	44,507	24,984	14,613	4,910
	計	66,477	35,764	22,675	8,038
	計 画 数	66,915	36,210	22,300	8,405
	実 施 率	99.3%	98.8%	101.7%	95.6%
乳 が ん	検 診 車	22,183	10,735	8,187	3,261
	検 診 センター	49,322	28,495	15,423	5,404
	計	71,505	39,230	23,610	8,665
	計 画 数	68,740	37,900	22,200	8,640
	実 施 率	104.0%	103.5%	106.4%	100.3%
肺 が ん	検 診 車	82,193	41,643	26,038	14,512
	検 診 センター	28,074	14,999	9,071	4,004
	計	110,267	56,642	35,109	18,516
	計 画 数	109,540	55,700	34,240	19,600
	実 施 率	100.7%	101.7%	102.5%	94.5%
大 腸 が ん	検 診 車	103,263	61,860	28,407	12,996
	検 診 センター	45,673	28,020	11,273	6,380
	計	148,936	89,880	39,680	19,376
	計 画 数	132,210	78,600	35,250	18,360
	実 施 率	112.7%	114.4%	112.6%	105.5%
小 計	検 診 車	325,160	181,005	97,426	46,729
	検 診 センター	197,028	113,584	58,833	24,611
	計	522,188	294,589	156,259	71,340
	計 画 数	504,455	281,420	149,890	73,145
	実 施 率	103.5%	104.7%	104.2%	97.5%

\*肺がん検診にはヘリカルCT含む

総括表

(単位：人)

センター別		合 計	札 幌	旭 川	釧 路
部位別					
前立腺がん	検診車	11,095	4,744	3,621	2,730
	検診センター	5,113	2,930	1,392	791
	計	16,208	7,674	5,013	3,521
	計画数	15,160	7,030	4,700	3,430
	実施率	106.9%	109.2%	106.7%	102.7%
特定健診	検診車	43,940	19,824	15,532	8,584
	検診センター	13,114	8,721	3,015	1,378
	計	57,054	28,545	18,547	9,962
	計画数	51,760	24,620	17,500	9,640
	実施率	110.2%	115.9%	106.0%	103.3%
定期健康診断	検診車	18,642	15,161	2,139	1,342
	検診センター	7,172	4,330	850	1,992
	計	25,814	19,491	2,989	3,334
	計画数	23,750	18,210	2,550	2,990
	実施率	108.7%	107.0%	117.2%	111.5%
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	検診車	520	94	268	158
	検診センター	6,251	4,291	855	1,105
	計	6,771	4,385	1,123	1,263
	計画数	6,040	4,100	950	990
	実施率	112.1%	107.0%	118.2%	127.6%
人間ドック	検診車	98	-	98	-
	検診センター	1,772	1,398	189	185
	計	1,870	1,398	287	185
	計画数	2,560	2,000	400	160
	実施率	73.0%	69.9%	71.8%	115.6%
骨 検 診	検診車	910	746	90	74
	検診センター	11,182	7,763	2,803	616
	計	12,092	8,509	2,893	690
	計画数	12,680	8,700	3,230	750
	実施率	95.4%	97.8%	89.6%	92.0%
婦人科超音波	検診車	17,868	7,607	7,754	2,507
	検診センター	40,246	21,359	14,346	4,541
	計	58,114	28,966	22,100	7,048
	計画数	58,685	28,800	22,900	6,985
	実施率	99.0%	100.6%	96.5%	100.9%
腹部超音波	検診車	329	-	329	-
	検診センター	3,156	3,156	-	-
	計	3,485	3,156	329	-
	計画数	3,000	3,000	-	-
	実施率	116.2%	105.2%		
小 計	検診車	93,073	48,176	29,502	15,395
	検診センター	88,006	53,948	23,450	10,608
	計	181,079	102,124	52,952	26,003
	計画数	173,635	96,460	52,230	24,945
	実施率	104.3%	105.9%	101.4%	104.2%
合 計	検診車	418,233	229,181	126,928	62,124
	検診センター	285,034	167,532	82,283	35,219
	計	703,267	396,713	209,211	97,343
	計画数	678,090	377,880	202,120	98,090
	実施率	103.7%	105.0%	103.5%	99.2%